

令和3年度の重点課題

- 男子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が9.5%である。
 - ・ 低学年に比べ、中・高学年がややきらい、きらいと答える児童が多い傾向にある。
- 女子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が12.1%である。
 - ・ ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも2.6%多い。
- 第5学年男子
 - ・ 「握力」「長座体前屈」「50m走」「体力合計点」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年女子
 - ・ 「握力」「長座体前屈」「50m走」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・ 新体力テストの総合評価のAB率27.2%、DE率38.0%である。((AB-DE)率 -10.8%)

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 準備時間や後片付けの時間を短縮し、児童の運動量を増やすことができるように、学年で連続して体育の授業を行った。
- 外遊びの楽しさを感得できるように、週に一回のロング昼休憩や月に一回の「全員外で遊ぼうDAY」を行った。
- 運動に興味を持つ児童を増やすことができるように、体育委員会と連携して外遊びの仕方を紹介したりロング昼休憩等で一緒に遊んだりした。
- 年間通じて休憩時間や長期休業中に縄跳びに取り組むことができるように、前期に縄跳びカードを配付した。
- 運動の楽しさを感得させたり、いろいろな運動にふれさせることができるように、体育振興部会の方々、施設と連携して「中黒瀬小学校スポーツフェスティバル」という学校行事を行い、大学生のダンスチームやバスケットボール部、陸上競技の講師を招いた。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.00	21.60	35.21	41.15	36.66	9.54	151.67	22.76	53.05	第5学年	16.30	25.57	36.45	38.32	26.03	9.72	146.91	10.70	52.31

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.00	21.60	35.21	41.15	36.66	9.54	151.67	22.76	53.05	第5学年	16.30	25.57	36.45	38.32	26.03	9.72	146.91	10.70	52.31

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	61.0	28.8	5.1	5.1	第5学年	31.8	50.0	11.4	6.8

中黒瀬小学校では、全児童を対象とした学校独自の意識調査を実施した。

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
第1学年	85.7	11.9	2.4	0	第1学年	77.3	11.4	6.8	4.5
第2学年	72.2	24.1	3.7	0	第2学年	73.5	23.5	3.0	0
第3学年	70.8	18.8	8.3	2.1	第3学年	75.0	13.9	8.3	2.8
第4学年	64.1	17.9	12.8	5.2	第4学年	48.0	32.0	20.0	0
第5学年	61.0	28.8	5.1	5.1	第5学年	31.8	50.0	11.4	6.8
第6学年	64.7	29.4	0	5.9	第6学年	48.4	32.3	19.3	0

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が8.4%である。(前年比1.1%↓)
 - ・ 低学年に比べ、中・高学年がややきらい、きらいと答える児童が多い傾向にある。
- 女子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が13.8%である。(前年比1.7%↑)
 - ・ ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも5.4%多い。

体力面での課題

- 第5学年男子
 - ・ 「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「体力合計点」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年女子
 - ・ 「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」「体力合計点」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・ 新体力テストの総合評価のAB率27.6%、DE率34.5%である。((AB-DE)率-6.9%)

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子7%以下、女子10%以下にする。
- 新体力テストの総合評価において、(AB-DE)率が-5%を上回るようにする。
- 「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の各学年の記録を令和4年度よりも上回るようにする。
- 体力合計点を令和4年度よりも各学年1.5点以上ずつ上回るようにする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・ 特に、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の数値が低いことから、低学年では鬼遊び、中学年ではゲーム、高学年ではボール運動の授業の充実を図る。
- ・ 児童が自身の運動技能の伸びを実感したり、友達の動きからよりよい動きを獲得したりすることができるように、積極的にタブレット端末を授業で活用する。
- ・ 合理的な運動の仕方を確認することができるように、動画やワークシート等を通して学習する時間を適宜取り入れる。
- ・ 縄跳びを年間通して行うことができるように、年度初めに縄跳びカードを配付し、体育の授業で技のこつを共有して練習したり、家庭学習に取り入れたいりする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・ 放課後でも運動に慣れ親しむことができるように、家庭でもできるような運動をタブレット端末の機能を通して紹介する。
- ・ 外遊びの楽しさを感得できるように、月に1回「全員外で遊ぼうDAY」を行い、体調不良等でない職員、児童が外遊びを行う時間を設定する。
- ・ 気軽にいろいろな外遊びにふれることができるように、道具なしで遊ぶことができるような遊びを、体育委員会が紹介する。
- ・ 児童がルールや場を工夫して外遊びすることができるように、カラーコーンやフラフープ等、自由に使うよい道具を運動場に設置する。
- ・ 持久力を高めることができるように、後期に持久走チャレンジカードを配付し、走った距離数に応じてシール等を渡す。
- ・ 児童の実態や意識を把握し、指導に生かすことができるように、全児童を対象とした意識調査を実施する。